

広島県立黒瀬特別支援学校

教育相談だより

第62号 令和3年8月24日

暑い日が続いていますが、夏季休業中を使っての、教材研究やリフレッシュはできているでしょうか。授業再開に向けての準備や支援、教材の作りだめにもお忙しいと思います。

令和3年度夏季教育相談期間の来校ありがとうございました

来年度、本校を進路先として考えられている方への教育相談を8/5までの教育相談期間で終わることができました。御協力ありがとうございました。今後もし、急遽希望が出た場合や転居との事情がある場合には、個別に対応を考えていきますので、コーディネーター 山崎まで御連絡ください。また、本校ホームページに、「学校紹介動画」を10月まで公開していますので、是非御覧ください。進路を考える上での参考にさせていただけるとありがたいです。

資料紹介 ミニケース会議を開いてみませんか？

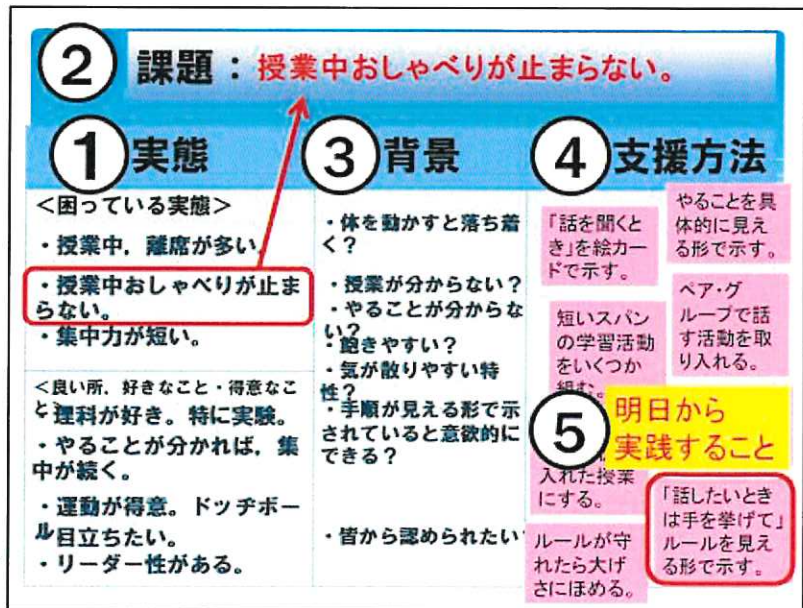
ミニケース会議とは、ある児童生徒の課題について共有し、児童生徒にかかわる複数の教員で課題の背景、良いところ・得意なところなどから効果的な指導・支援方法について協議していく、というものです。対象生徒の実態・課題に対する背景を複数の教員で協議することを通して**たくさん**の支援方法のアイデアを出しあえます。図のような順番で模造紙に書いて、意見を付箋で張り付けていきます。

手順

・「困っているんだけど」という声があれば5、6人に声をかけて。

・提案、司会、記録を決める。用意は模造紙、ペン、付箋だけ。

・番号の順に、時間を区切って意見を出し合ひましょう。



※詳しい資料をお渡しできますので、黒瀬特別支援学校 山崎まで御連絡を

黒瀬特支エキスパートの紹介(2)

「作業学習における自ら「わかって動ける」ための取組」

高等部で行う作業学習は、1～3年を縦割りにして、7つの作業種（清掃、食品加工、農業、手工芸、窯業、紙工芸、サービス）の中から、希望により一つを選び1年間通して学んでいきます。はじめはやり方を一つずつ学んでいきますが、次第に、教員の指示はなくても、生徒が自分の判断で作業を進めるようになってきます。そのために様々な支援がちりばめられています。今回はそのいくつかを紹介します。

作業割り当ての提示

1年間一つの作業を続けている中でも、その日の作業割り当てには変化があります。様々な作業工程を体験してもらいたいからです。一目見て、自分がどの作業台で何の（番号、色で指定）作業をするか、理解しやすくする為の構造化です。



道具の整理と名称

作業学習には、専門的な道具も使われます。教員が当たり前だと思って道具名を使っても通じないこともあります。それを明示できるように、一覧表を常に貼っておくことも大切です。

また、片づけ方も各作業種様々であるため、無くさないための工夫（場所の明示）も必要です。

いつもしまう場所を箱で指定する、種類分けの区切りをつけておくことでも、整理しやすくなります。



小さく紙をちぎる

紙工芸の作業風景です。牛乳パックの表面のフィルムをはがし、中のパルプを溶かし、絵ハガキやしおりなどを作っていきます。その時、「パルプを小さくちぎってね」と伝えますが、人によって「小さく」はとても主観的です。写真の支援では、「ペットボトルの口を通すことができる大きさ」で具体的に表しています。

